



西尾寿博議員

山口町政の船出

行財政改革を推進

問 「山口町政」真のスタートである。

所信をただす。

(1)この度設置した「行政改革審議会」の答申について、町長の考え方は、(2)職員が10年間で62人減り、3割程度の補充ということだが、支所はじり貧で、住民サービスが低下しないか不安である。退職者の補充はどうするのか。

(3)大山支所は観光商工課がある。中山支所にも本課を置いて住民サービスの核にすることはできないか。

(4)職員給与の減額、評価制度の導入、急激な改革は、不安を増し、やる気無くすものである。「わたり」に対する取り組みは。

答 (山口町長)

(1)3月1日に設置された

審議会の構成は、旧3町の助役・合併協委員・区

長会長など12人である。

行財政改革大綱及び、集

中改革プランの策定、他

に補助金等の適正化、施設

管理のあり方、合併後

の問題点など委員を通じ

住民の声を聴いていく。

(2)本年度6名の退職者が

ある。行政の役割を考え

ながら補充する。職員増

の状況ではなく、旧3町の

体制を残すことはない。

本所・支所の機能のあり

方を検討し、職員のやる

気を高める。

(3)合併したほとんどの町

が旧町にある程度の機能を

を残す分庁方式であり、

1年経過した中で通信基

盤整備を踏まえながら新

たな体制づくりを考えて

いく。

(4)4月から実施する給与

構造の改革に基づいた「条

例」の改正により、「わ

たり」制度は自動的に廃止される。

仕事を適正に評価し職

員の力が発揮できる環

境づくりをしていく。

雪害の対策 - 18年豪雪 -

警戒本部を設置

問 この冬の大雪は「平成18年豪雪」と命名され

た。スキー場は喜んだが、

雪害も多く発生した。

(1)雪害対策本部を置かなくてよかつたのか。

(2)死亡事故、スノーモー

ビルでのけがの対応は。

(3)農業・林業・水産業等の被害対策は。

答

(山口町長)

(1)雪害警戒

本部を設置

し職員の巡

回監視、住

民の救援要

請、除雪の

要望などに

対応した。

対策本部も考慮したが、

その後あまり雪が降らな

かつたため設置しなかつ

た。

(2)情報収集に努め、警

察・大山自治会・スキー

場と連携をとり救出支援

をした。

さらに、防災無線・自

治会有線・ゲレンデ放送

などで注意の呼びかけを

実施。

(3)現在、関係諸団体と連

絡をとり、県に被害報告

をしている。まだ雪があ

り詳細な被害状況の把握

は困難であるが早急に対



大山寺の除雪作業

介護保険制度の改正内容

介護予防が重点

介護予防サービスが始まる。

(1)居住費、食費の額は。

(2)包括支援センターのサ

ービス内容は。

(3)保険料の基準額は。

答 (山口町長)

(1)居住費・食費が保険給

付の対象外となり個人負

担となった。しかし低所

得者には過重を避けるた

め上限を定め、それ以上

は介護保険から給付する。

(2)要支援・要介護状態・

重度化にならないよう介

護予防を重視する内容で

ある。

要支援1・2の者に対

しては状態に応じた目標

を設定し、本人・専門家

が協力しあい自立に資す

るサービプランを作成

し、効果などを定期的に

チェックする。

予防サービスの内容は

15種類ある。

(3)標準月額を4000円

に改正した。収入によつ

て介護保険料を5段階に

分けていたが、1段階増

えて6段階になった。

問

介護保険制度は、平

成17年10月に一部改正さ

れ、そして18年4月から